

【年末年始のお知らせ】
仕事納め 12月28日(水)
仕事初め 1月5日(木)
年末の事務処理は12月27日(火)まで
新年の通常業務は1月6日(金)より

建設長崎

December
No.618
2016年12月15日
1部20円 組合員の購読料は組合費に含まれます
印刷●株昭和堂 TEL 095-821-1234

発行●長崎県建設産業労働組合 〒852-8021 長崎市城山町17番58号 TEL 095-862-7121 FAX 095-862-5281 <http://www.kensetunagasaki.org/> 発行責任者●田上一郎 編集人●若杉孝雄

長崎県・長崎市へ要請行動

リフォーム助成制度の継続・拡充 設計労務単価引き上げ、適正単価発注を訴える

建設長崎と中小建設業協会では推薦議員団と連携して、十一月八日に長崎市へ、十一月十六日には長崎県へ対してそれぞれ要望書を手渡し、公共工事の分離分割発注、公共工事設計労務単価の引き上げ、住宅リフォーム助成制度の継続・拡充などの要望、要請行動を実施しました。

長崎県

十一月十六日、午後二時から県庁三階特別応接室にて、里見副知事他六名の部課長に対し、北村協会長、船津委員長他二十三名と渡辺、深堀、坂本県議同席の中、要請しました。

これに対し里見副知事から、「品質の確保は大前提だが分離分割発注は可能な限りやっていきたい。平成二十三年度より木材利用の拡大方針を決めており、やるものはやっていく。」

「設計単価は直近の価格が反映できるように改善してきており予定価格を適切なものにしていく。」

「三世代同居近居促進リフォームは、制度が変わると周知に時間がかかり増えている状況。相談は多く来ているので利用者のニーズを分析して来年度に向けて研究していかないといけない。」と回答

北村協会長から里見副知事に要望書を手渡し、公共工事の分離分割発注、木造建築物の振興、地域事業者の活性化と担い手の育成、公共工事設計労務単価の引き上げと適正単価での発注、住宅リフォーム助成事業の拡充を要望しました。

その後、小林副会長と同席された坂本県議から、リフォーム助成事業は小規模改修事業から予算を回した経緯があると予算の増額について強く訴え、山田監事から、小規模工事における単価の設定について要望した。最後に、渡辺、深堀県議から、リフォーム制度は会派の施策要望としてあげる、地場で頑張っている人の声として前向きに取り組んで頂きたいと要請して終了しました。

長崎市

十一月八日、午後二時から長崎市役所第二応接室にて、三藤副市長他五名の部課長に対し、北村協会長、船津委員長他十三名と板坂、佐藤、野口、池田市議同席の中、要請しました。

北村協会長から三藤副市長に要望書を手渡し、公共工事の分離分割発注、木造建築物の振興、公共工事設計労務単価の引き上げと適正単価での発注、住宅リフォーム事業の継続を強く要望した。

これに対し三藤副市長は、「自然災害の復旧や社会資本の整備で建設業界の力を再認識。工事量の確保のため一定の予算を確保していきたい。新規就労者を増やしていくためにも福利厚生を初め労働条件の引上げに繋がるような施策が必要であると考えている」と述べられ、山口理財部長と吉田まちづくり部長から、「受注機会の確保の観点から分離分割発注をおこなっており、地元業者の受注機会の確保に努めていきたい」

「設計労務単価が引上げられたら速やかに新単価で積算を行ない、最低制限価格は国と同水準になるよう引上げを行った」「住みよ家リフォーム補助金については、財政状況が厳しい中、緊急経済対策としての検証を行い、社会情勢も勘案し今後の取り扱いを検討していきたい」と回答があった。

その後、北村協会長と船津委員長から住みよ家リフォーム補助の継続について再度訴え、平出副会長から熊本地震後申し込みが増えている耐震改修補助予算の確保について要望。最後に、同席された板坂市議から、最低制限価格の更なる引上げ、学校補修工事の地元業者への発注、提出書類の軽減について要請し終了しました。

県北地区労働安全推進大会

～労働災害の撲滅を目指して～



表彰を受けられた方々

十一月八日(火)佐世保市労働福祉センターにおいて県北地区の労働安全推進大会が開催されました。

この大会は、長崎・県央地区と交互に開催され、今年度は県北地区の年で寺田副委員長長の挨拶に始まり、労働災害でお亡くなりになられた方に黙とうを捧げ、船津執行委員長より主催者を代表してあいさつを頂きました。

記念講演は佐世保労働基準監督署安全衛生課長の石見氏より「木造住宅建築工事における安全対策等について」プロジェクトを活用しながら行われました。特に足場・脚立並びに建設機械についての事故や、様々な資格の変更について詳しい説明がありました。

次に各支部より推薦された安全功労の表彰があり、茅原支部長(佐世保

委員長の挨拶に始まり、労働災害でお亡くなりになられた方に黙とうを捧げ、船津執行委員長より主催者を代表してあいさつを頂きました。

記念講演は佐世保労働基準監督署安全衛生課長の石見氏より「木造住宅建築工事における安全対策等について」プロジェクトを活用しながら行われました。特に足場・脚立並びに建設機械についての事故や、様々な資格の変更について詳しい説明がありました。

次に各支部より推薦された安全功労の表彰があり、茅原支部長(佐世保

全リ協入会募集説明会・義務講習A開催

仕事確保へ向けて百人超が受講

全建総連リフォーム協会(全リ協)の入会募集説明会とA講習(義務講習)が、十一月十六日にセントヒル長崎(長崎市)で開催されました。

主催者を代表して船津執行委員長が「人口の減少や

少子化に伴い、新築が減ってリフォームの需要が多くなっている。国は中古住宅を含め住宅のリフォーム市場を今後二〇二五年度までに二十兆円に倍増させる政策を掲げている。国土交通省は一昨年、住宅リフォーム事業者団体登録制度を創設しました。住宅メーカー等は団体を作った国から優良事業者の認定を得て営業に利用しようとしている。そうしなければ私たちの職域であるリフォーム市場は脅かされる。全建総連もリフォームの事業者団体を今年四月に設立し、七月に国からの認可が得られた。組合員も団体に加入して国のお墨付きをもらわないとこ

れからの仕事確保も難しくなっていく。本日は全建総連の田口書記次長と、住宅保証機構から講師をお招きしている。講習を受けて仕事に生かしていただきたい」とあいさつ。

講演は全建総連の田口書記次長が①協会の概要について、②リフォーム工事マナーについて、③標準契約書式・約款について説明をした後、住宅瑕疵保険機構の松元真也氏が④リフォーム瑕疵保険について説明。

住宅省エネルギー技術施工技術講習会(C講習)今後の予定

平成二十九年一月 十四日(土) 長崎県勤労福祉会館
平成二十九年一月二十二日(日) 建設長崎本部会館
※省エネ技術講習会は「全リ協」入会者の義務講習になっています。まだ受講していない方は、この機会にぜひ受講をしてください。



第45回技能士大会

～技能技術の継承と振興をめざし～



第四十五回長崎県技能士大会が十一月十五日、ホテルニュー長崎にて開催されました。県民に技能尊重の機運を高め、技能者の経済的地位の向上をめざすため、毎年十一月の職業能力開発促進月間に合わせて行われています。

大会は長崎県、県職業能力開発協会、県技能士会連合会の主催で行われました。主催者を代表して県産業労働部の宇戸真二次長が「本県の景気は緩やかな回復を続けている一方、若年労働者の減少や若者のものづくり離れが続いている。現場を支える技能技術が失われ

技能検定功労者

●田崎康夫さん（浦上西）知事表彰

●一瀬純男さん（大村）県技能士会連合会長表彰



子供の製作を手伝う役員さん ーベルナード観光通りー

技の祭典

技能まつり 2016

～明日へつなぐ確かな技能～

「子供たちに『ものづくり』の魅力を伝える」

「明日へつなぐ確かな技能」をメインテーマに、長崎県の技の祭典「技能まつり二〇一六」が、十一月十三

日長崎市浜の町ベルナード観光通りで開催されました。観光通りで開催されました。

若者のものづくり離れ、技能離れが見られる中、展示や身近に体験することで「ものづくり」の魅力を伝える事を目的に毎年行われ、県内の技能士会団体や工業高校、大学のグループなど十七の団体が出展しました。

建設長崎は、長崎技能士会として参加。市内支部より七名の組合員さんに協力頂き、「万能腰掛づくり」を作成しました。参加した子どもらは、組合員のサポートを受けながら、日ごろ持ちたない金槌やイン

興味を持って建設業で働きたいと思ってもらえたら」と話していました。

お子様をはじめ多くの方に体験頂き大変好評で、有意義な一日でした。

建設技能者が少なくなっている厳しい現状をふまえて、建設技能者が少なくないことを示すために、建設技能者の魅力を伝えることが懸念される。技能技術の継承と振興のため、技能が尊重され評価される社会の実現をめざしたい」と知事のメッセージを代読。大会では各種表彰が行われ「技能検定功労者」として田崎康夫さん（塗装組合・浦上西支部）が知事表彰を受賞。また、一瀬純男さん（大村技能士会）が県技能士会連合会長表彰を受賞されました。

十一月六日（日）、この季節とは思えないほどの暖かな陽気の中、南島原市西有家町の旧農協跡地にて「第二十四回GAMADASまちづくり・住まいづくりフェア」が開催され、島原支部の組合員・協会会員で奉仕活動としての木工教室を行いました。

今年はお客さんの列が途絶えず、会場付近で南島原市の「みそ五郎まつり」が行われており、例年に比べて人の往来は多く、ステージ上での餅まきや丸太切り競争などのイベントや、中央広場での耐震ハウス実演の際には多くの人が集まり活気に溢れていました。

一方、住宅フェアに出展の各ブースで足を止めてじっくり見学する方は全体的に少なく感じました。

そのような中、建設長崎の木工教室は賑わいを見せていて、老若男女様々な方が訪れ、組合員に指導を受けながら慣れない手つきで「すのこ」を作成し、出来上がりを楽しみに持ち帰られていました。

もちろん、賃金ディッシュをお渡しし、併せて、建設長崎のアピールもできたのではと思います。

GAMADAS まちづくりフェア

～すのこ作成、大賑わい～



島原支部

萱瀬分会住宅デー

～竹とんぼ作り、大好評～



大村支部

大村支部・萱瀬分会では、十一月十三日（日）に開催された第四回444しあわせ街道まつりに協賛し、萱瀬小学校にて開催しました。

気持のいい秋晴れの中、組合員・主婦会合わせて十七名が集まり、「すのこ」

茂木分会住宅デー

中央支部

～今年もお客さんの列が途絶えず～



茂木分会では、さわやかな秋空のもと、十一月三日（祝）に茂木フェリー乗り場に茂木ふれあい祭りに協賛し、無料奉仕活動としての住宅デーを開催。組合員・主婦会二十二人の参加で、包丁研ぎ・まな板削り・木工製品の販売を行いました。

朝九時の開会に向けての準備段階から、建設長崎のテント前には包丁を持った方の行列ができており、九時の段階では、磨く前の包丁が三十本ほど並び、磨いても磨いても昼前までは次々に仕上げました。

当日は少し肌寒くはありましたが、天気にも恵まれ来場者も多く、建設長崎をアピールする良き住宅デーとなりました。

住宅デーだより

各地域で祭りに協賛 組合をアピール！

（参加者）（敬称略）
津上 章司 上野美喜雄
高月 康男 福島 洋一
塚根 勇吉 高木 剛
上野 義弘 二階堂裕也
伊藤 一廣 川田 洋一
金水 誠 副島 具巳
伊藤 光廣 副島 俊哉
岩崎 陽子 伊藤 久子
中尾スミ子

（参加者）（敬称略）
太田 俊一 太田 寿俊
山口 龍志 山口大志郎
山口 賢龍 大野 高好
田川 正修 内平 幸雄
樋口 正人 石橋 廣喜
田森 勝 坂口 忠義
馬場 秀行 西村 忠光
大石 直 太田 昌子
山口美佐江 樋口須磨子
馬場ヒロ子 藤本カズエ
田上副委員長

（山本）

～懐かしい顔と乾杯！来年も元気で再会を！～



また、参加者の中には、今回七十歳になられた方、

七十歳を超えていたが初めて参加された方もいて円卓で囲んだテーブルでは、互いに初対面の方や何十年ぶりに会った方もいて「あんなは何歳になったとね、お

いよりも年下ばってん、若く見えるね」とか「おいは、まだ、現役で仕事はしょつとぞ若いもんにまだまだ負けとらん」と、色々な話が飛び出して、笑い合う場面も見受けられました。

楽しい時間もあつと言うまにお開きの時間となり、来年も互いに元気で会う事を約束して終了しました。

中には、お酒を飲みすぎ介抱された方もいましたが無事、自宅に帰られたと、お聞きし、ひと安心でした。

中にも、お酒を飲みすぎ介抱された方もいましたが無事、自宅に帰られたと、お聞きし、ひと安心でした。

中にも、お酒を飲みすぎ介抱された方もいましたが無事、自宅に帰られたと、お聞きし、ひと安心でした。

中にも、お酒を飲みすぎ介抱された方もいましたが無事、自宅に帰られたと、お聞きし、ひと安心でした。

中にも、お酒を飲みすぎ介抱された方もいましたが無事、自宅に帰られたと、お聞きし、ひと安心でした。

中にも、お酒を飲みすぎ介抱された方もいましたが無事、自宅に帰られたと、お聞きし、ひと安心でした。

中にも、お酒を飲みすぎ介抱された方もいましたが無事、自宅に帰られたと、お聞きし、ひと安心でした。

中にも、お酒を飲みすぎ介抱された方もいましたが無事、自宅に帰られたと、お聞きし、ひと安心でした。

中にも、お酒を飲みすぎ介抱された方もいましたが無事、自宅に帰られたと、お聞きし、ひと安心でした。

中にも、お酒を飲みすぎ介抱された方もいましたが無事、自宅に帰られたと、お聞きし、ひと安心でした。

中にも、お酒を飲みすぎ介抱された方もいましたが無事、自宅に帰られたと、お聞きし、ひと安心でした。

中にも、お酒を飲みすぎ介抱された方もいましたが無事、自宅に帰られたと、お聞きし、ひと安心でした。

中にも、お酒を飲みすぎ介抱された方もいましたが無事、自宅に帰られたと、お聞きし、ひと安心でした。

中にも、お酒を飲みすぎ介抱された方もいましたが無事、自宅に帰られたと、お聞きし、ひと安心でした。

中にも、お酒を飲みすぎ介抱された方もいましたが無事、自宅に帰られたと、お聞きし、ひと安心でした。

中にも、お酒を飲みすぎ介抱された方もいましたが無事、自宅に帰られたと、お聞きし、ひと安心でした。

中にも、お酒を飲みすぎ介抱された方もいましたが無事、自宅に帰られたと、お聞きし、ひと安心でした。

中にも、お酒を飲みすぎ介抱された方もいましたが無事、自宅に帰られたと、お聞きし、ひと安心でした。

中にも、お酒を飲みすぎ介抱された方もいましたが無事、自宅に帰られたと、お聞きし、ひと安心でした。

中にも、お酒を飲みすぎ介抱された方もいましたが無事、自宅に帰られたと、お聞きし、ひと安心でした。

中にも、お酒を飲みすぎ介抱された方もいましたが無事、自宅に帰られたと、お聞きし、ひと安心でした。

11/10

プラチナ友の会

中央総支部・浦上総支部

十一月十日(木)午後六時から中央総支部・浦上総支部合同で毎年恒例のプラチナ友の会をサンプリエール長崎で開催しました。

プラチナ友の会は、七十歳を超えた組員さんが対象で、今回も三〇名の参加を頂きました。

当日は、本部四役と各支部長さんにも参加して頂き久しぶりにお会いした先輩の皆様と懇談を深めました。

プラチナ友の会の中には本部三役や支部長を経験された大先輩も見えられていて、当時の組合運動の大変さを今後の厳しさを話して頂き、大変、参考になりました。

また、参加者の中には、今回七十歳になられた方、七十歳を超えていたが初めて参加された方もいて円卓で囲んだテーブルでは、互いに初対面の方や何十年ぶりに会った方もいて「あんなは何歳になったとね、お

いよりも年下ばってん、若く見えるね」とか「おいは、まだ、現役で仕事はしょつとぞ若いもんにまだまだ負けとらん」と、色々な話が飛び出して、笑い合う場面も見受けられました。

楽しい時間もあつと言うまにお開きの時間となり、来年も互いに元気で会う事を約束して終了しました。

中には、お酒を飲みすぎ介抱された方もいましたが無事、自宅に帰られたと、お聞きし、ひと安心でした。

中にも、お酒を飲みすぎ介抱された方もいましたが無事、自宅に帰られたと、お聞きし、ひと安心でした。

中にも、お酒を飲みすぎ介抱された方もいましたが無事、自宅に帰られたと、お聞きし、ひと安心でした。

中にも、お酒を飲みすぎ介抱された方もいましたが無事、自宅に帰られたと、お聞きし、ひと安心でした。

～今後も継続開催が重要～



佐世保東支部

住宅デー

佐世保東支部では、十一月六日(日)に、「わくわくふれあい市」・十三日(日)に、「どろんこの里」で住宅デー(無料包丁研ぎ)を開催しました。

わくわくふれあい市での開催は四年連続で、地元住民の方には十分に浸透していると感じました。一時は、包丁が何十本も溜まる場面もあり時間内に仕上がるのか心配になりましたが、スピードアップされ時間内にはすべて仕上げる事が出来ました。当日は二三八本包丁が集まりました。

どろんこの里での開催は初の試みで包丁がどのくらい集まるか心配ではありましたが、さすが受付時間頃になるとちらほらではありますすが預けにいらっしゃるお客様が見えました。受付時

間を少し延長したのもありましたが一〇〇本を超える包丁が集まりました。

最後に、支部担当として、初めての「住宅デー」に参加させて頂き、地域の住民の方々とふれあいや、「建設長崎」のアピールの場として、また支部の活性化の為に、今後の継続開催の重要性を勉強させて頂きました。当日ご参加いただきました組合員・主婦会の皆様大変お疲れ様でした。

（香月）

（香月）

佐世保中央支部 旅行会



十一月二十日、二十一日に、山口方面へ支部旅行を総勢二十八名の参加で開催しました。

バスに皆さん乗り込み、塚本支部長のあいさつ後、早速乾杯。和気あいあいと山口へとバスを走らせ、第一目的地の長府城下町巡りとなりましたが、昼食後というところもあって皆さん足が重く脱落者が数名ベンチへ。次は山口県「旧県庁舎」等の見学、こちらはコスプレの若い子たちが思い思いに写真を撮影中のなか、声をかけたりして楽しく見学しました。ホテルでは大いに盛り上がった宴会の後、「女将劇場」が、夜十時まで催され、昼間の疲れも手伝って皆さんぐつぐつと就寝されました。

二日目は秋吉台や夢タワなどを見学しましたが、特に水族館では皆さん、イワシがトルネードのように泳いでいる姿やイルカショーに熱中し時間を忘れてしまうほどでした。

今回は歩く距離が長く皆さんお疲れモードと思いつつも、バスの中は元気で両手いっぱいのお土産を持ちながら帰路へと、最後に、今回の旅行を楽しみに解散しました。

（測上）

（測上）

（測上）

北松支部 旅行会

～震災から半年・復興応援旅行～



十一月六日・七日に十八名の参加で熊本県並びに福岡県飯塚方面への旅行会を開催しました。

出発のバス車中では、七時半過ぎの乾杯を合図に早朝ということも関係なくガイドさんの話もそっちのけで宴会が始まりました。

最初の見学地は熊本城でしたが、震災から半年の月日が経過した今でもその爪痕が生々しく残っていました。昼食後に参拝した阿蘇神社も今月になって工事が着工したようで、神社には不釣合いな重機が置かれていて、復興にはまだまだ時間と費用が必要だと感じられました。また、主要道路も封鎖など、工事中の箇所も多く見受けられました。

とはいえ、観光客を呼び込むとさまざまなイベントも計画・実施されており、食事処なども営業されていました。

十七時過ぎに旅館に到着し、その一時間後には宴会が行われました。バスの中での飲酒を感じさせないような見事な飲みっぷりとカラオケを披露されていました。

宴会後はホテル内に併設されているボウリング場で即席の大会が開催され、旅行の疲れを感じさせない熱い戦いが行われました。

翌日は、果物狩り・酒蔵見学・嘉穂劇場・旧伝右衛門邸を見学しました。今回、例年にはない果物狩りを企画しましたが、実際に狩られる方は数名で、ほとんどの方は朝摘みの「りんご」を購入するという状況でした。嘉穂劇場・旧伝右衛門邸では、案内人の説明に耳を傾けるのではなく、気になった箇所を自由に見学されていました。天候にも恵まれ、大きなトラブルもなく沢山のお土産を抱えて家路につきましました。参加された皆様お疲れ様でした。

2016この一年 国内の主な出来事

●保育園落ちたのは私だ

「保育園落ちた 日本死ぬね!!」の匿名ブログに共感の声広がる(二月)。待機児童九万人超、二年連続増加で疑われる政府の本気度

●破綻したアベノミクス 大企業の利益と内部留保増えるも、雇用は不安定、賃金上がらず消費は低迷。アベノミクス破綻隠すマイナス金利導入(二月)。亡国のTTPの行方いかに

●二度の震度7、熊本地震 熊本・大分県を中心に相次ぐ最大震度7(四月)。死者一三〇人超(関連死含む)、負傷者約二五〇〇人、建物損傷十数万棟。被災地へ全国から熱い支援続々

●揺れる首都・東京 疑惑の外添前知事辞職で小池知事誕生(七月)。築地市場の豊洲移転延期や五輪会場見直しなどの問題次々浮上。都民無視の歴代都政による巨額ツケ露わに

●参院選で改憲派三分の二 自公が改選過半数を大きく上回る議席獲得し、改憲勢力三分の二。安倍暴走政権ストップ訴えた野党・市民共闘が全国で成果も(七月)

●相次ぐ台風、各地で被害 台風十号による河川氾濫で高齢者施設入居者が犠牲になるなど岩手県中心に二十二人が死亡(八月)。北海道、九州も相次ぐ台風で被害。交通寸断、野菜高騰も

●沖縄新基地建設許さない 辺野古新基地・ヘリパッド建設許さずと炎天下の反対行動続く。本土機動隊の「土人」発言に垣間見える沖縄への差別意識(十月)

平成29年度国保予算確保に向けた

ハガキ要請行動

「協力ありがとうございました。」

国保組合の補助金をめぐ

る情勢が不透明な中、長建

国保に対する現行補助水準

の維持に向け組合で組合

員・家族の皆様にはハガキ要

請の取り組みをお願いした

所、一万六千七百三十一通

の要請ハガキを集約する事

が出来ました。中央、大浦、

市南、東長崎、浦上西、浦

上東、諫早、大村、島原、

佐世保中央、佐世保東、佐

世保北、北松、平戸の十四

支部が組織数の二・五倍と

いう目標を達成し、中でも

佐世保北支部は組織数の約

三・四倍を達成し、取り組

みに対する大きな力となり

ました。また、全体でも割

当の百パーセントを越える

取り組みが出来ました。

ハガキ要請は組合員と家

族の声を直接伝える運動で

す。組合は山のように届い

たハガキを全て点検し、厚

生労働省、財務省へ全通投

函しました。

今回のハガキ要請行動に

ご協力頂いた組合員・ご家

族の皆様により感謝申し

上げます。

16,721通集約



長建国保 平成28年度巡回健診

【県下九カ所・三百九十三名受診】

昨年に引き続き、長建国保ではより多くの皆様に健康診断を受診していただく為、今年度は五月から十一月にかけて日曜日にそれぞれ県下九カ所にて巡回健診を実施いたしました。

「日曜日しか休みがないから助かる」、「レントゲンや心電図など無料で検査がたきさん受けられてよかった」などのお声も頂き、今年度も巡回健診を無事終了する事が出来ました。

午前九時半から受付を開始し、一人当たり十五分か

ら二十分程度で健診を終了し、各会場で合計三百九十三名の方が受診されました。

巡回健診は特定健診の検査項目に加え、痛風検査・貧血検査・腎機能検査・視力・聴力・心電図検査・胸部X線検査が無料で受けられる、お得な健診となっています。

また、来年度も今年度同様に実施を予定しております。年に一度の健康チェックの為に、是非巡回健診を受診しましょう。

2016年の主な出来事

10月



- 佐世保地区住宅フェア（1日）
- 長建国保臨時組合会（4日）
- 第57回全建総連大会（12日～14日）
- 本部主婦会日帰り旅行会（25日）
- 長崎地区住宅フェア（29日～30日）

11月



- 島原地区住宅フェア（6日）
- 県北地区労働安全大会（8日）
- 長崎市長要請行動（8日）
- 技能祭り（13日）
- 長崎県知事要請行動（16日）
- 全リ協説明会（16日）
- 全建総連予算要求中央総決起大会（22日）
- 組織共済一部見直し運用開始

12月



- 各支部忘年会
- 福岡国税局交渉（20日）
- 仕事納め（28日）
- 各種講習会開催

7月



- 主婦会総会（1日）
- 本部青年部清掃活動（3日）
- 長建国保第93回組合会（28日）
- 第71回定期大会（17日）
- （一社）長崎県中小建設業協会第4回定期総会（21日）

8月



- 原爆殉難者慰霊祭（8日）
- 浦上川万灯流し（9日）
- 県央振興局要請行動（25日）
- 諫早市長要請行動（25日）
- 全建総連青年技能競技大会（27日～29日）
- 各支部大会（8月23日～9月14日）

9月



- 各支部大会（8月23日～9月14日）
- 九地協幹事会（28日～29日）

4月



- 組合結成70周年・長建国保設立45周年記念式典・祝賀会（16日）
- 支部対抗ソフトボール大会（24日）
- 28年度特定健診スタート

5月



- 第87回長崎地区メーデー（1日）
- 労働保険年度更新受付（16日～6月8日）

6月



- 九地協企業交渉（9日～10日）
- 青年技能競技大会（12日）
- 青年部大会（23日）

1月



- 本部旗開き（5日）
- 各支部旗開き（12日～19日）
- 中小建設業者新春研修会・交流会（22日）
- 税務署交渉（長崎20日、佐世保・平戸21日、諫早・島原29日）

2月



- 本部主婦会新年の集い（2日）
- 所得税受付（4日～29日）
- 西海市要請行動（3日）
- 佐世保市要請行動（15日）
- 各支部賃金拡大委員会（19日～29日）
- 長建国保第92回組合会（25日）

3月



- 所得税一括申告（14日）
- 消費税受付（15日～25日）
- 大村市長要請行動（25日）
- 長建国保保険証検認受付（10日～31日）